

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 土曜日	教室名	1校舎901 902
担 当 教 員	森本誠一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
現代の医療を取り巻く状況の中で生じてくる生命・医療倫理学上の主要な問題に触れ、それらについて倫理的観点から考察することを通じて臨床検査技師として身につけるべき倫理的規範を学習します。						
《成績評価の方法と基準》						
第20回目に終講テストを実施します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜、資料を配布します。また、参考図書などは授業のなかで紹介します。						
《授業外における学習方法》						
配布資料をもとに予習をし、授業後は講義ノートをもとに復習すること。また、授業で提示された資料(新聞・雑誌記事、漫画、アニメ、映画、ドラマなど)を確認すること。さらに、新聞にまいにち目をおし、授業で学修した内容に関連するニュースをチェックすること。						
《履修に当たっての留意点》						
この授業をとおして、政治、経済、社会の問題が私たち自身の問題であることを知り、関心をもち、それらの問題について私たちがどうあるべきなのか、気がついたときには自然と考えているような、そういう習慣を身に付けてもらえたらと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	倫理学の基礎と現代の医療を取り巻く状況について理解できるようになる	配布資料	シラバスを読んで、授業の内容を確認しておくこと。また、気になったキーワードやわからないことばがあれば調べておくこと。	
		各コマにおける授業予定	この授業で何を学ぶのか、授業の全体像を把握します。また、倫理学の基本的な考え方と現代の医療を取り巻く状況について具体的な例をもとに学習します。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ニュルンベルク綱領までの医療倫理の歴史について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	古典的な医の倫理とされるヒポクラテスの誓いから現代の生命・医療倫理が立ち上がってくるまでの流れを概観します。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ニュルンベルク綱領以降の医療倫理の歴史について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生命・医療倫理学の成り立ちから出発し、生命・医療倫理学上の基本的な概念を学習します。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者中心の医療について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス、セカンド・オピニオンについて確認し、患者中心の医療がどのようなものなのか学習します。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の権利について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	世界医師会の宣言や各種の倫理的なガイドラインなどについて学習します。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	QOLについて理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	QOL(生命の質)について学習します。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺伝検査に関連する倫理的諸問題について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	遺伝子検査が自己決定にとどまらないどのような倫理的観点を要求するものなのか学習します。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	優生思想について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	優生思想について学習し、生命や人間にとっての尊厳とは何かを考えます。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖医療の概要について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	生殖補助技術が進化することで、私たちにどのような医療上の恩恵をもたらし、どのような倫理的影を落とすのか学習します。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工授精、体外受精、顕微授精の技術について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	人工授精、体外受精、顕微授精がどのようなものなのか学習します。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工授精、体外受精、顕微授精の倫理的問題について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	生殖補助医療に関連する行為についてどのような倫理的議論があるのかを学習します。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖補助医療に関連する行為についてどのような倫理的議論ができるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	代理出産とそれが私たちに投げかける問題について学習します。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	出生前診断、着床前診断、新型出生前診断について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	出生前診断、着床前診断、新型出生前診断がどのようなものか確認した上で、どのような倫理的問題があるか学修します。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択的人工妊娠中絶について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	選択的人工妊娠中絶を中心に、生殖補助技術や中絶に関連する倫理学上の議論を学習します。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工妊娠中絶について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	人口妊娠中絶に関する倫理学上の議論を学習します。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 土曜日	教室名	1校舎901 902
担当教員	森本誠一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
現代の医療を取り巻く状況の中で生じてくる生命・医療倫理学上の主要な問題に触れ、それらについて倫理的観点から考察することを通じて臨床検査技師として身につけるべき倫理的規範を学習します。						
《成績評価の方法と基準》						
第20回目に終講テストを実施します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜、資料を配布します。また、参考図書などは授業のなかで紹介します。						
《授業外における学習方法》						
配布資料をもとに予習をし、授業後は講義ノートをもとに復習すること。また、授業で提示された資料(新聞・雑誌記事、漫画、アニメ、映画、ドラマなど)を確認すること。さらに、新聞にまいにち目をとおし、授業で学修した内容に関連するニュースをチェックすること。						
《履修に当たっての留意点》						
この授業をとおして、政治、経済、社会の問題が私たち自身の問題であることを知り、関心をもち、それらの問題について私たちがどうあるべきなのか、気がついたときには自然と考えているような、そういう習慣を身に付けてもらえたらと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	安楽死・尊厳死・セデーションの倫理的問題について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	安楽死・尊厳死についての倫理的議論を学習します。			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における医療について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階における医療(終末期医療)における最終的セデーション(鎮静)がどのようなものなのかを確認し、その倫理的問題について学習します。			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器移植の概要について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	生体移植を中心に臓器移植に関連する倫理的問題について学習します。			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳死者からの臓器移植に関する倫理的問題について理解できるようになる	配布資料	配布資料を事前に読んでおくこと。また、授業に関連するものとして提示された参考資料に目を通しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	脳死者からの臓器移植について倫理的な観点を学習します。			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験、まとめ	配布資料	これまでの授業で学習したことを復習し、終講試験へ向けた準備をすること。	
		各コマにおける授業予定	終講試験を実施しあと、試験の講評、全体のまとめをおこないます。			